



平野商事社屋

平野商事は、LPガスの供給や機器販売をはじめ、ガス事業、ガソリンスタンド事業、土木・水道・管工事などの建設事業を鹿児島県北西部に位置する薩摩川内市で展開する。販売地域は、周辺の樋脇町市比野地区のほか、さつま町など近隣地域におよぶ。令和4・5年度における補助事業の連続申請となるが、今回は令和4年度についてお話を伺った。

## 検針業務の負荷軽減とガス切れ撲滅を目指して

LPWAシステム導入のきっかけは、人手不足で悩んでいた際に、タイミングよくメーカー担当から補助金申請の提案をされたことだった。検針と配送は3名が兼任しており、検針業務の負荷軽減のほか、業務用顧客のガス切れ撲滅を図りたいと代表取締役社長の平野峻岳さんは導入に踏み切った。

同社はガス販売・ガソリンスタンド・工事の3事業の連携がしっかり取れていることが強みで、忙しい時期は部門を超えて、お互いに助け合う協力体制がよく整っている。検針業務もそのひとつで、他の事業の担当者も手伝うことがある。「検針業務が軽減できれば、他事業の応援、保安強化、働き方改革などに活かせることが増えると思います。ガス切れ対策も、残量がリアルタイムでわかることで配送に要する走行距離の短縮以外にも、車輛に多めに積んでいたポンペを減らせるなど、作業量に加え、ガソリン代の軽減にも繋がります」と平野さんは話す。



左から、東洋計器・中原さん、ガス事業部・松元さん、平野社長

## 遠隔地や電波状況で設置の優先順位を決定。設置後は保安面で安心感と予想外のメリット

1,300件の顧客件数のうち、令和4年度の補助金申請では250件を設置した(令和5年度の750件を含めると1,000件となる)。LPWA導入には6名が携わり、機器の取り付け作業は内2名で行った。申請はメーカー担当者がスムーズに進めてくれたが、取り付けは一筋縄ではいかなかった。通常業務と並行しながらの作業であったことや、移動距離のある遠隔地を優先したことで、時間を要してしまった。更に電波状況の調査を行い、届きやすい場所を優先順位に入れたものの、実際は通信が途絶えてしまうことがあり、現場で電波の入る場所を探す作業が発生した。

設置後は、従来の検針票がなくなるので通知する手段を検討しなくてはならない。高齢のお客さまが多いので、スマートフォンやインターネットでの通知は難しく、現在は圧着はがきでのお知らせを検討している。検針員の訪問を楽しみに待っているお客さまもおり、接点営業や地域の見回りとしての意味があるので、そういったお客さまには集金を続けていくという。

また保安強化も拡大した。集中監視により通報が入ったので、お客さま宅へ駆けつけた例もある。使用時間が長いとメーターが自動遮断するが、お湯を出したままにしていたことが原因だった。お客さまよりも先にガスが止まっていることがわかり、お客さまにお知らせすることで安心感を与えることができた。別件では給湯器の異常を検知したお客さまで、ガスに異常はなかったが、給湯の配管漏れが発生していることがわかった。これは自動監視システムがなければ分からなかった事例で、想定外の効果だった。



管理画面で確認する担当者

## 今後の展望とアドバイス

「今後、検針業務が軽減されれば、他業務を支え合う体制もより強固となり、会社全体で更なる営業活動に取り組めると思います。反省点は、導入してすぐ検針票・請求書の通知が遅れたことがあったので、LPWAの導入を検討されている事業者は、発行方法を先に決めておくともスムーズで良いと思います」とガス事業部の松元克晋さんはアドバイスしてくれた。



充填・配送も自社で行う

# LPWA通信システムの実態調査票(事前調査)

フリガナ 会社名	ヒラノショウジカブシキガイシャ		会社所在地		鹿児島県薩摩川内市樋脇町市比野2434-9		
	平野商事株式会社		事業責任者名		平野 峻岳	役職名	代表取締役
連絡先	部署名	ガス部	電話番号		0996 - 38 - 0050	従業員数	26 名
	担当者名	平野 峻岳	ホームページ				
会社設立	西暦	1969 年	5 月	1 日	顧客件数	1,300 件 内家庭用	1,250 件 業務用 50 件
事業内容	1. LPGの供給 2. ガソリンスタンド事業 3. 建設業 4.						
会社の強み	1. それぞれの事業が縦割りではなく、横の連携が取れている。 2. 各事業の顧客を紹介しあえて、効率が高い。 3. 売上もバランスよく、偏りが少ない。 4.						
LPWA通信 システムの 活用方法	<input type="checkbox"/> システム連携 <input checked="" type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input type="checkbox"/> 配送 <input type="checkbox"/> 保安 <具体的活用方法> 販売エリアが広く、検針業務の人的負担の軽減。						
	<申請前における業務上の問題点> 検針宅における従業員負荷の低減や業務用顧客のガス切替減を図る。						
LPWA通信 システムの 導入目的	<導入によって期待する効果> 検針にかかる労力を軽減し、働き方改革、営業活動に活かす。						
	導入費用	総金額	1,562,500 円	内補助金対象金額	1,562,500 円	補助金額	781,250 円
導入期間	補助金申請日	西暦	2022 年	6 月	9 日	所要期間	6 ヶ月
	機器設置完了日	西暦	2022 年	12 月	19 日	合計	5 名 内社内 5 名 内社外 0 名



# LPWA通信システム導入までのスケジュール

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
導入までのスケジュール	●仕様検討													
	●機器メーカー選定													
	●設置先の選定													
	●補助金申請書作成													
	●事前調査													
	●事前周知													
	●設置工事													
	●試験運用													
	●本格運用													
	●メーカー講習会													
●その他 ( )														

通信機器メーカー選定理由	メーカーからのサポート、信頼があるため
導入・設置を進める中で生じた問題点とその改善策	<発生した問題点> 通信が途絶える状況がある。
	<上記問題点を改善した方法> 設置場所の変更
導入によって得られた効果や想定外の効果・エピソード等	配送計画も残量をリアルタイムで確認できるので無駄のない配送業務ができる。自動検針、保安管理の強化ができる。
導入によって削減できた費用	車両燃料等の経費削減。労働時間の効率化による費用。
反省点	検針・集金のお客様、会社関係には、もう少し早く周知をするべきだった。

今後の拡張方針	<input type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input checked="" type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安
	<input type="checkbox"/> その他 ( )

自己評価	5 大変だった 4 やや大変だった 3 普通 2 あまり大変ではなかった 1 大変ではなかった	作業項目	評価 (数字を入力)	評価5または4の具体的な理由
		●申請作業	3	普通
●仕様確定	1	大変ではなかった		
●メーカー選定	1	大変ではなかった		
●事前周知	3	普通		
●設置工事	5	大変だった	他の業務も重なり、設置が大変だった。	
●試運転	2	あまり大変ではなかった		
●その他 ( )				
申請から導入後 (現在) までにあった、反響・意見・要望等	社内から	人手不足解消の為とはいえ、設置業務が増えてしまい、大変だった。		
	業界・取引先などの社外から	検針票などがなく、通知が来るのが遅いと言われた。		
	お客さまから	検針時に顔を合わせなくなるのが心配との声あり。		
補助事業申請予定事業者へのアドバイス (こうしておけば良かった、注意すべき点等)	検針票、請求書の発行は先に決めておいた方がよい。			